

企画総務部 副部長の土居和彦さん。
JA東びわこ本店前にて。

PFU導入事例 流通

東びわこ農業協同組合

業種：営農、購買、農産物販売、金融、生活事業 ほか
組合員数：20,893人（令和8年3月31日現在）
主な農産物：米、麦、大豆、梨、山芋、そば



「fiシリーズ」と「PaperStream Capture Pro」を活用して申込書と伝票の入力を自動化

所要時間が4分の1になり、農繁期の残業と職員の業務負担が大幅に軽減

滋賀県彦根市のJA東びわこ（東びわこ農業協同組合）では「現場職員自らが業務を効率化できる環境づくり」を実現する「小さなDX」の一環として、業務用スキャナー「RICOH fi Series」（以下、fiシリーズ）と有償のイメージキャプチャリングソフトウェア「PaperStream Capture Pro」を導入しました。同JAでは両製品によるスキャンとOCR処理によって、「彦根梨」の申込書や市場との間で交わされる伝票など、大量に発生する紙帳票の記載内容を自動で入力する運用を実現し、職員の業務負担を大幅に軽減しています。同JA本店を訪ね、運用の実際について詳しくうかがいました。

課　題　季節業務である「彦根梨」の予約申込書の入力作業に多大な手間と時間を要し、現場では残業が常態化して職員の負担が非常に大きかった。また農産物の出荷に関する伝票の入力にも大きな手間がかかっており、改善が求められていた。
解決法　現場主体のDXの一環として「fiシリーズ」と「PaperStream Capture Pro」を導入し、スキャンした紙帳票のイメージデータからOCRで抽出したテキストを基幹システムに自動で入力する運用に変更。
効　果　申込書と伝票のいずれも入力に要する時間が最大で4分の1にまで削減され、ヒューマンエラーによる入力ミスもなくなった。また職員の心理的負担も大きく軽減された。

「彦根梨」申込書をスキャンしたイメージデータから「ゾーンOCR」機能で数字を抽出し、入力作業を自動化

――JA東びわこ 企画総務部 副部長（リスク・業務改善・DX担当）の土居和彦さんにお話をうかがいます。JA東びわこでは2年前にA3コンパクトスキャナー「fi-7460」と有償のイメージキャプチャリングソフトウェア「PaperStream Capture Pro」を導入されました。現在の活用状況について、概要からお聞かせください。

土居さん　計画している活用の範囲がかなり広い中で、端緒として主に稼働させているのは、贈答用の「彦根梨」を予約するための申込書や、イチゴなど梨以外の農産物を市場に出荷する際に発生する伝票類のデータ化です。いずれも従来は、回収された紙の伝票を見ながら担当者が基幹システムに一件ずつ手入力し、その後に別の職員が突き合わせて確認を行っていました。入力・確認ともに膨大な作業時間を要し、農繁期における残業の常態化、誤入力や転記ミスの発生といった問題があったほか、紙帳票のファイリングや保管、あとからの検索にも手間がかかっていました。

そこで紙の申込書や伝票を「fi-7460」でスキャンし、一部の数字を「PaperStream Capture Pro」の「ゾーンOCR」機能で読み取ることにより入力作業を自動化し、さらにノーコードツールで内製したオリジナルアプリによって以降の作業をしやすい形にデータを整える運用にした結果、大幅な効率化が実現しました。


紐で綴じてある5冊が令和7年度の「彦根梨」申込書、青いバインダーが令和7年度のイチゴ関連伝票の一部。

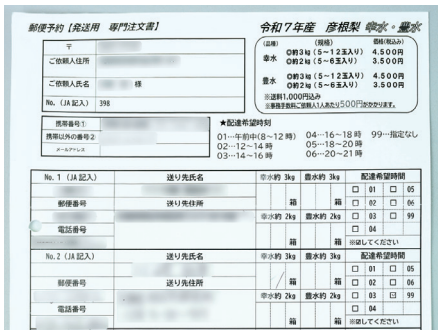
スキャンとOCR処理によって大幅な時短と業務負担軽減を実現。無理を重ねていた現場の仕事が楽になった

――ここでは贈答用「彦根梨」予約申込書のスキャンについて詳しくうかがいます。予約は総数で何件になるのでしょうか。

土居さん　直近の実績で約5,000件の申し込みがありました。総数の6割はオンライン予約ですが、組合員には高齢の方も多いため、昔ながらの郵送による申込書配布を行っています。これに注文が書き込まれ、営農経済センターに郵送で届きます。以前はセンターの担当職員2人が申込書を見ながら手で入力していたため、人手が不足すると長時間の残業を行いながら対応していました。

最も大変だったのは、農繁期に梨がどんどん育つと締切もどんどん迫ってくることと、贈答用であるため特に入力ミスが許されず、目を凝らして確認と修正をしなければならないことでした。日常の業務をこなしながらの作業ですから、夜遅くまで入力・確認作業を行うこともあるなど、現場の担当は非常に苦労していました。

現在は申込書を本店で預かってスキャンし、「PaperStream Capture Pro」で数字を読み取り、オリジナルアプリでデータを整えてからセンターに転送しています。センター職員の業務は、転送されてきたデータと、センターに戻ってきた申込書原本を2～3日かけて照合し、最終データに仕上げて基幹システムに連携させるだけになっています。これによって時間だけでなく、職員の心理的負担も大幅に軽減されました。


郵便予約【発送用　専門注文書】

令和7年産　彦根梨 幸水・豊水

No.1（JA記入）	送り先氏名	幸水約3kg	豊水約3kg	配達希望時間
郵便番号	送り先住所	箱	箱	01 05
電話番号		幸水約2kg	豊水約2kg	02 06
		箱	箱	03 99
				04

No.2（JA記入）	送り先氏名	幸水約3kg	豊水約3kg	配達希望時間
郵便番号	送り先住所	箱	箱	01 05
電話番号		幸水約2kg	豊水約2kg	02 06
		箱	箱	03 99
				04

郵送で営農経済センターに届いた「彦根梨」注文書（部分）。あらかじめ前年の購入履歴に基づく贈答先が印字されており、変更がある場合は注文者が修正します。A4サイズの普通紙で、三つ折りにした跡があります。


本店の「fi-7460」による「彦根梨」申込書スキャンの様子。申込書に三つ折りの跡があっても問題なく給紙し、1分間に60枚・120面の高速でスキャンします。


「PaperStream Capture Pro」のスキャン結果確認画面。このイメージデータから「ゾーンOCR」機能で数字を抽出してCSVファイルで出力します。それをオリジナルアプリによって過去の購入履歴と照合してデータを整え、営農経済センターに転送します。

業務改善に大きく寄与する両製品の機能と、実際の業務に即した提案や迅速なサポートを高く評価

――スキャナー選定の過程で「fiシリーズ」と他社製品を比較されましたか。また、何を決め手として「fiシリーズ」を選ばれたのでしょうか。

土居さん　複合機でのスキャンや他社製ドキュメントスキャナーと比較検討した結果、給紙性能が高く、薄い複写伝票や異なるサイズが混在しても紙詰まりや重送を起こさないことを決め手として「fiシリーズ」を選択しました。「fi-7460」を導入したのは、A3対応でありながらコンパクトで、高速読み取り性能と超音波センサーによる確実な重送検知性能を備えていることを評価したためです。

――イメージキャプチャリングソフトウェアに有償の「PaperStream Capture Pro」を選ばれた理由をお聞かせください。

土居さん　「PaperStream Capture Pro」はクラウド型AI-OCRと異なり、月額従量課金ではなく枚数制限なしで使える1年間ごとの定額制であるため、大量処理してもランニングコストを抑えられることが決め手になりました。加えて「PaperStream Capture Pro」の「ゾーンOCR」画面がわかりやすく操作性に優れており、事務職員が迷わず直感的に確認・修正できることも挙げられます。

――検討の過程でPFUが提案した内容や導入までのやり取りは、最終的な判断にどのように影響しましたか。

土居さん　実際の帳票サンプルを用いた実機デモを行い、「fi-7460」が薄紙の複写伝票でも紙詰まりを起こさずに高速で読み取れることや、免許証のようなプラスチックカードもスキャンできて汎用性に富んでいること、「PaperStream Capture Pro」のOCRの読み取り精度とデータ出力の流れが非常にスムーズであることを確認できました。現場の運用フローに即した具体的な提案をしてもらったことで、導入後の活用イメージを明確に描くことができました。

DXはベンダーやパートナー抜きに推進することは困難です。単に製品のスペックをアピールするだけでなく、JA特有の業務内容や現場で発生する帳票の特徴を深く理解して、運用の定着まで伴走してくれるパートナーを選ぶことが重要だと実感しました。PFUはサポートもきめ細かく、初期設定でわからないことがあったときもすぐに担当者が来てくれ、サポートセンターと電話でやり取りしながら解決してくれました。

PFU A RICOH Company
［fiシリーズについてのお問い合わせ］
株式会社PFU
デモ機の無料貸し出し実施中！
詳しくはホームページをご覧ください。
株式会社PFU
お申込みはこちら